

令和2年度ヨーロッパザラボヤ付着情報（第8報）

令和2年12月1日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

ヨーロッパザラボヤについては低水準での付着が継続しています。一方で、ユウレイボヤの付着が目立ってきています。

<調査方法>

- ・山田湾内の定点において調査。
- ・ホタテガイ貝殻製の付着器を5m、10m、15m水深に3枚ずつ垂下し、約1ヵ月間に付着したヨーロッパザラボヤ（1mm以上）を計数。
- ・平均付着数：9枚（3水深×3枚）の付着器1枚あたりの平均値。

<調査結果>

付着器投入日：令和2年10月26日

付着器回収日：令和2年11月26日

- ・11/26の水深5・10・15m層の平均水温14.3℃、透明度は10mでした。
- ・付着器1枚あたりのヨーロッパザラボヤの平均付着数は7個でした。
- * 付着器1枚あたりのユウレイボヤの平均付着数は36個でした。

月	平均付着数/枚		
	2018年	2019年	2020年
1	5	5	6
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0	0	0
5	3	2	2
6	353	1,004	434
7	155	550	115
8	45	163	15
9	9	28	3
10	22	32	11
11	27	43	7
12	34	14	

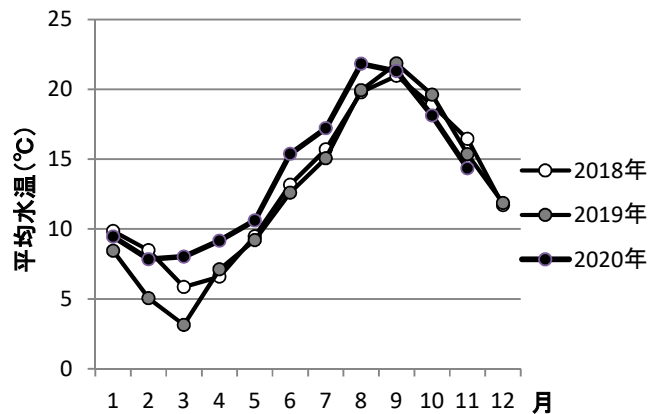


図1 山田湾定点における平均水温(5・10・15m)の推移

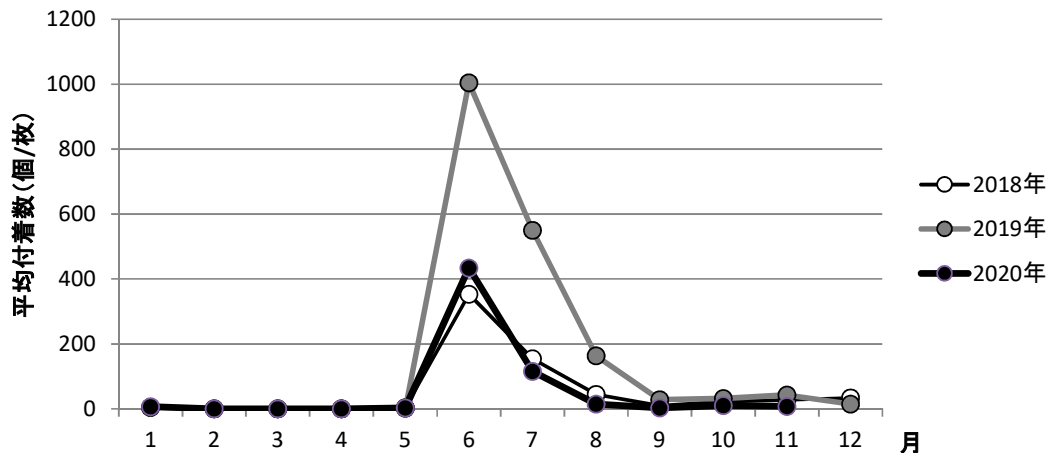


図2 山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着数の推移

次報は、12月末頃に発行する予定です。